

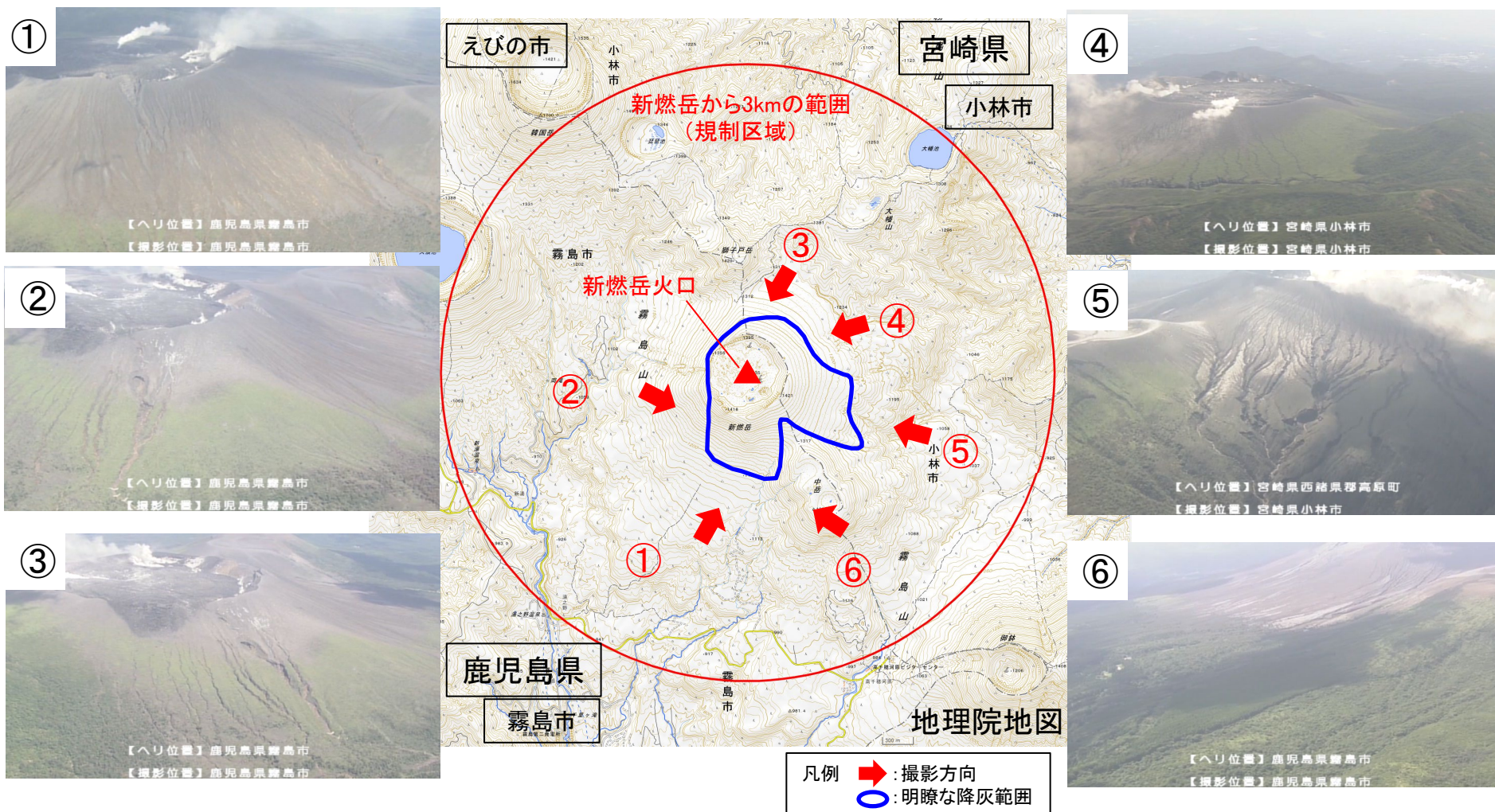
8月28日 ヘリ調査結果(速報版)

- 8月28日4時53分頃に発生した新燃岳噴火(噴煙高度5,500m)に伴い、九州地方整備局では、新燃岳周辺の降灰状況を把握するため、ヘリによる上空からの調査を同日に実施。
- 悪天候により南向き斜面(鹿児島県側)の調査はできなかったが、霧島市方面への噴煙が確認でき、霧島神宮周辺や国道223号へ数ミリ程度の降灰が確認された。
- 7月3日の噴火時(噴煙高度5,000m)と同様に、火口周辺に火山灰が堆積している可能性もあり、少ない降雨でも土砂流出に対する注意が必要。



【参考】7月15日 ヘリ調査結果(速報版)

- 九州地方整備局では、7月15日に新燃岳周辺の降灰状況を把握するため、ヘリによる上空からの調査を実施。
- 新燃岳の南向き斜面や中岳との間の鞍部斜面の植生限界より上部斜面に、新たな火山灰の堆積が認められ、それらの斜面には比較的新しいリル・ガリー侵食が認められた。

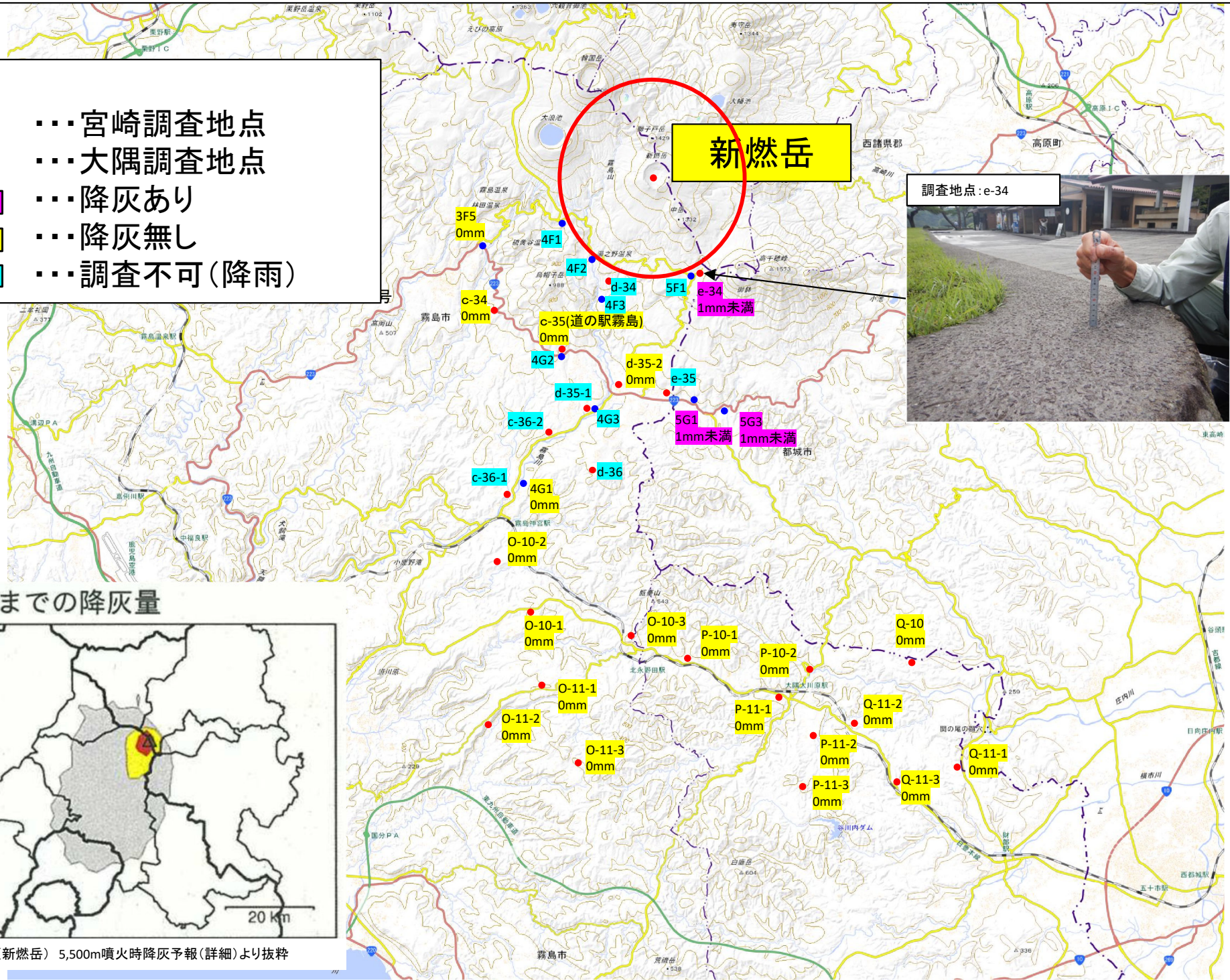


鹿児島県側 調査地点位置図

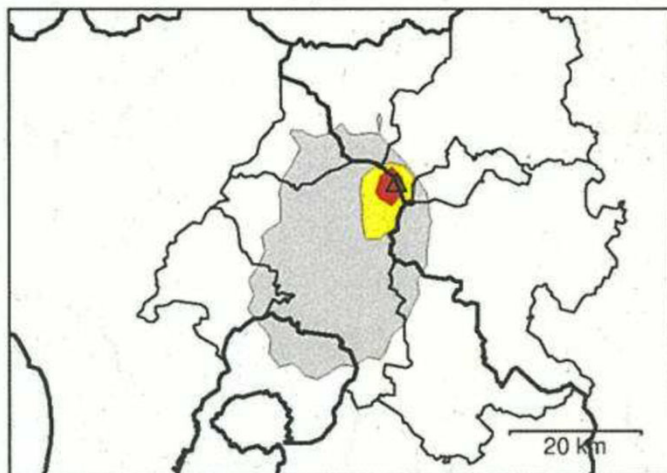
250828

凡例

- ... 宮崎調査地点
- ... 大隅調査地点
- ... 降灰あり
- ... 降灰無し
- ... 調査不可(降雨)



0 8 時までの降灰量



気象庁: 霧島山(新燃岳) 5,500m噴火時降灰予報(詳細)より抜粋